

令和3年第7回 須崎市教育委員会議事録

1. 日 時；令和3年6月25日（金）午後1時25分から午後2時10分まで

2. 場 所；須崎市総合保健福祉センター 3階 研修室

3. 出席者等；教育長：細木 忠憲

委 員：松浦 啓人、坂本 由香、徳久 和宏、尾崎 恵子

事務局：生涯学習課長 岡本 憲仁

子ども・子育て支援課長 松浦 すが

学校教育課長 北川 洋子

学校教育課長補佐 中西 司

1 開会

2 議事録の承認、署名

各委員に対して、配付議事録（案）を確認後に、署名を依頼する。

3 行政報告（教育長から報告）

【新型コロナウイルス感染症について】

- ・昨年度は、臨時の学校休業により7月末まで1学期を延長したが、本年度は大きなトラブルもなく順調に推移している。
- ・県内では引き続き新規感染者が多い状況が続いているが、須崎市では一部関係者の感染確認があったが、学校、保育園ともに休校・休園等の措置をとることもなく推移している。適切な感染防止対策をしている保育職員や教職員に感謝している。
- ・変異ウイルスによる感染が増加しており、子どもへの感染の可能性も大きくなっていると言われており心配している。引き続き感染症対策に努めていく必要があると考えている。
- ・須崎市でも高齢者へのコロナワクチン接種が進んでおり、今後は市民に案内することになるが、保育職員や教職員への接種を優先してほしいとお願いした。保育職員については6/29から4日間に分けて優先接種をすることが決まったが、教職員への優先接種は見通しが立っていない。
- ・先日、県が高知新港を会場として高知市内に職場がある警察官や教職員に優先接種を行うとの報道があったが、高知市だけではなく県内すべての教職員を対象に接種すべきではないかと県教委に申し入れた。

【学校訪問について】

- ・学校訪問では、各校とも順調なスタートをしていると感じたが、一部に心配な状況も見受けられたので、引き続き注意していく必要がある。

【図書館を含む複合施設について】

6月定例会で、図書館を含む複合施設の用地として、約7,300㎡を2,060万円で取得する議案が承認されたので、生涯学習課で契約に向けて事務を進める。

【学校統合について】

- ・学校統合の各地域での説明会を順次実施しており、現在3地区で意見を聞いた。小規模でも固有の良さがある、大規模校には課題が多い、通学の負担に対する心配、統合を進めるにあたり具体的な中身を示していない等の意見があった。
- ・7月中には市内8地区での説明を終えるので、そのうえで今後どのように進めていくのか検討していきたいと考えている。
- ・秋に開催予定の市政懇談会でも議論される見通しである。

【高岡地教連秋季研修会について】

- ・高岡地教連の秋季研修会は須崎市開催であり、内容等について意見ををお願いしたい。

4 議事

議案第 41 号	須崎市給食センター整備検討委員会設置要綱の制定について	同意
議案第 42 号	須崎市 I C T 教育推進本部設置要綱の制定について	可決
議案第 43 号	須崎市青少年育成センター補導員の委嘱について	同意
議案第 44 号	児童生徒校区・区域外通学許可について（秘密会）	同意

【質疑】

議案第 41 号

(松浦委員) 候補地の土地の高さは大丈夫か？

(坂本委員) 候補地は水の心配はないか？

(北川課長) 候補地については、津波浸水区域外、土砂災害警戒区域外、雨水等の水の心配もない所で検討している。

議案第 42 号

(徳久委員) 設置の目的は I C T 教育をより推進するためか？推進本部ができることにより、須崎市が教育方針として示している I C T 教育、プログラミング教育、外国語などをこれからより進めていく準備でよいのか？

(北川課長) はい。より進め一貫して行うためアドバイザーを入れて全体的にボトムアップをしたい。学校では1人1台端末となったが教員への研修が十分でない。須崎市として組織的に研修しながら、授業での効果的な活用や保幼・小・中で一貫した教育ができるものを構築したい。アドバイザーをお願いすることで、例えば保育園では玩具を使ったプログラミング的思考を養う、小学校低学年ではこうした能力を培っていく、中・高学年ではこのような取り組みを行うなど、全体的なことを一貫して進めていこうとしていくもの。

(徳久委員) N P O 法人みんなのコードの事業に対応するものか？

(北川課長) みんなのコードはプログラミング教育やテクノロジー教育で機械を使うことが得意分野である。一方、推進本部のアドバイザーである先生は機械、テクノロジーを使うことが目的ではなく、例えば今ある授業やイベントで I C T を活用することや、外国語教育にもタブレットを使

いながら効果的な授業をやっていくもので、取り組み内容は若干違う。

いずれにしても、タブレットを使うことやICT活用の中にテクノロジーも含まれていることから、みんなのコードでも教職員の研修をやってもらい同時に進めていくもの。

(教育長) 推進本部の取り組みは、機器を教育現場にどれだけ効果的に持ち込み、授業や教育実践へ活用していくかという側面が強い。みんなのコードの取り組みは、学校外の活動で「特別な部活動」という考え方であり、社会人も含め新しいテクノロジーの活用スキルや体験の場の提供などをやっていきたいというもの。市長の思いとしては、新しいテクノロジーを活用することにより、起業支援や雇用に結びついていく、そうした成果が出ることも期待している。

5. その他

- ①高岡地区市町村教育委員会連合会教育委員夏季研修会（越知町）について
- ②高岡地区市町村教育委員会連合会教育委員秋季研修会（須崎市）の内容協議について

6 閉会

次回の定例委員会を令和3年7月26日（月）午後1時30分から開催することを確認し、閉会となる。